

# きずな

## 目指せプロサッカー選手!!



▲熊本市をホームタウンとするプロサッカークラブ  
ロアッソ熊本の選手と子どもたち

1月14日、麟泉運動公園にて  
天草キャンプサッカー交流会が行われました。

### 主な内容

- 議長挨拶 …………… 2
- 定例会など…………… 3～6
- 一般質問 …………… 7～13

# 新年に寄せて

明けましておめでとうございます。

皆様には健やかな新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年は、北朝鮮によるミサイル発射に振り回された一年となりました。この北朝鮮の行動について、昨年末、「国連安全保障理事会」は、北朝鮮への新たな経済制裁を盛り込んだ決議案を全会一致で採択しました。関係の深い中国やロシアも含めた国際包囲網により北朝鮮の孤立化はさらに進むことになりました。一方で、平和の祭典「平昌オリンピック」については、参加を正式に表明しましたが、どうでしょうか。国際協調への道しかないと思われませんが、相変わらず「核のボタン」論争が展開されています。

さて、苓北町議会は「苓北町議会活性化等検討特別委員会」を立ち上げ、「町民の皆様方に身近な議会」を目指し取り組んでいるところです。そこで、昨年9月定例会分から一般質問の音声を苓北町ホームページで配信いたしております。パソコンやスマートフォンで簡単に聴くことができますので是非ご拝聴ください。



苓北町議会 議長

山本 政人

また、法改正により、選挙年齢の見直しがなされ18歳以上となりました。高校生でも3年生になれば選挙権を有する生徒も出てきます。そこで、児童・生徒に身近な政治に関心を持つってもらうために、「議会傍聴実施」と平成30年度における「子ども議会（生徒代表が登壇者（質問者）の実施）」を検討いただくよう町当局と教育委員会へ要望いたしました。「議会傍聴実施」については、さっそく、苓北中学校の1年生が昨年9月定例会を傍聴してくれました。その様子については、苓北町議会だより「きずな」第103号に紹介しましたが、すばらしい傍聴記を寄せてくれました。「子ども議会の実施」については、開催の方向で検討いただいているものと思います。

これからも「より身近な議会」を目指してまいります。ご意見等ございましたらご一報ください。

結びに、皆様方の益々のご健勝と苓北町のさらなる発展を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



# こんなことが決まりました!!

◎専決補正予算を承認・可決。

(単位：千円)

一般会計各特別会計補正予算(専決処分)	補正前予算額	補正額	補正後予算額	補正を行った主な理由
一般会計補正予算(第4号)(専決処分)	4,856,789	5,730	4,862,519	衆議院議員選挙等執行に伴う経費
一般会計補正予算(第5号)	4,862,519	142,054	5,004,573	富岡港船客待合所改修・災害復旧事業による増額
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	1,316,682	12,795	1,329,477	高額療養費の支出増の見込みによる増額
介護保険特別会計補正予算(第2号)	887,123	2,906	890,029	制度改正に伴うシステム改修による増額
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	108,814	△617	108,197	保険基盤安定負担金の確定による減額
水道特別会計補正予算(第2号)	229,528	4,227	233,755	消費税の不足に伴う増額
宅地造成事業特別会計補正予算(第2号)	7,519	0	7,519	財源区分の変更

## 平成29年第16回定例会

討 論

議案第62号

平成29年度一般会計補正予算(第5号)

反対意見

松本議員

私は、反対の立場で意見を述べる。船客待合所は現状に於いては、利用できる。まして、前倒しをして、本年やるんだということである。小中学校の空調設備は財源がないということとで完成の見通しが付かない。

この船客待合所は約5000万円の費用がかかるということだが、先程の総務委員会の報告の中で、教育現場で夏場は40度を超える部屋があるということである。これは異常であり、この状況を1日でも早く回避しなければ。止めねばならない。

子供達に最高の教育現場を与えるという意味で、船客待合所はまだまだ使える。不便かもしれないが、先送りしてでも、子供達の教育に係る現場(空調設備)を早急に整備していただきたい。

今回の補正予算には反対する。

賛成意見

浜口議員

本予算案の、富岡港待合所の改修は、これの活用策を幅広く検証され、崎津集落の世界遺産の観光に関連させて、町の振興につなげて欲しい。

また、都呂々の林道崩壊に対しては、慎重に慎重を重ねた対応により、地域住民の、安全を図って欲しい。よって賛成する。



富岡港船客待合所

◎茶北町の条例の一部改正についても原案どおり可決されました。

改正された条例名	改正の主な理由
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	職員の育児のための深夜勤務の制限等に係る子の範囲の拡大及び介護のための時間外勤務の制限を新たに規定
茶北町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	職員並びに非常勤職員の育児休業、育児短時間勤務及び部分休業の取得等の要件の見直し
茶北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院勧告及び熊本県人事委員会勧告に準じて職員の給与等を改定
錦戸春美基金の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	基金の事業完了による基金残額が「0円」となったため条例の廃止(基金の事業：坂瀬川小中学校施設の整備等に係る事業)
茶北町港湾管理条例の一部を改正する条例	港湾管理条例の占用料を熊本県港湾管理条例を参考にして整理し、公共空地・水域における「棧橋」、「建物」、「起重機」等の占用料を定めた

開催日：12月13日～14日

# 総務常任委員会 調査報告

実施日：11月9日・10日

## 調査の概要

町内小中学校、学校給食共同調理場施設の運営状況の調査及び天草市における廃校を利用した誘致企業(株)デンソー天草事業所の事業運営等の視察調査。

## 視察調査の結果

### (委員会からの要望)

・町内小中学校  
施設面においては、町教育委員会と調整されていたが、冷暖房設備整備の早急な検討を。

和式トイレについては、洋式トイレ(温水洗浄便座)への改修を年次的に速やかに対応すべきである。

放送室を「難聴学級」として利用している小学校があり、施設面での環境整備に速やかに取り組んで欲しい。

また、中学校においてもICT教育機器の公的整備を行って欲しい。

### (学校からの意見として)

・「子ども議会」について

小学校6学年から「公民」を学習する。また、選挙権が18歳と対象年齢が引き下げられたこともあり、早い時期から町議会に触れ、町当局・教育委員会による次代を担う児童生徒の意見発表の場(子ども議会)が開催されることは良いことだと思う。

### ・学校給食共同調理場

献立表どおりの給食の提供、及び食材については、国内産を使用し、安心安全な給食を提供して欲しい。

年齢が引き下げられたこともあり、早い時期から町議会に触れ、町当局・教育委員会による次代を担う児童生徒の意見発表の場(子ども議会)が開催されることは良いことだと思う。



茶北中学校授業参観



学校給食共同調理場



藻の培養設備

### ・(株)デンソー天草事業所

旧五和中学校跡地を天草市から賃貸して活用し、バイオ燃料となる藻の培養に取り組みられており、2020年の商品化を目指されている。

誘致先として決定した理由は、藻の培養に必要な温暖な気候、豊富な日照時間そしてきれいな水があり、環境が整っていたためということであった。今後、天草における事業拡大の際には、ぜひ茶北町へ進出いただきたいと要望を行った。

## 茶北町人権擁護委員に推薦

茶北町富岡 濱崎幸枝さん

が決まりました。

## 公の施設の指定管理者の指定について、次のように決定しました。

公の施設の名称	指定管理者となる団体	指定の期間
茶北町老人福祉センター	茶北町農業協同組合	平成30年4月1日～平成33年3月31日
茶北町町民総合センター等	株式会社サンクリーンドリーム	平成30年4月1日～平成33年3月31日
茶北町温泉センター及び温泉自動販売機	長井商事株式会社	平成30年4月1日～平成33年3月31日
茶北町斎場	茶北町農業協同組合	平成30年4月1日～平成33年3月31日

請願第2号

・政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出

(意見書の内容) 日本政府における核兵器禁止条約の調印を求める意見書  
 広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年を経た平成29年7月7日核兵器禁止条約が採択された。  
 核兵器は破滅的な非人道的な兵器であり本条約は、開発、生産、実験、製造、取得、保有、貯蔵、使用とその威嚇に至るまで、核兵器にかかわるあらゆる活動を禁止し、「抜け穴」を許さないもので、被爆者や、核実験被害者への援助を行う責任も明記され、被爆国、被害国の国民の切望に応えるものとなっている。  
 この様に、核兵器禁止条約は、被爆者とともに我々国民が、長年に亘り熱望してきた核兵器完全廃絶につながる画期的なものである。  
 地球上で唯一原爆投下を受けた広島と長崎で核の惨禍を体験したその経験から、戦争放棄を定めた憲法を持つ日本は、核兵器の禁止に賛同し、これの推進の先頭に立つことが強く求められる。われわれは日本政府が速やかに核兵器禁止条約に調印する事を求める。  
 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
 平成29年12月14日  
 熊本県茶北町議会議長 山本政人  
 内閣総理大臣、外務大臣 様

討 論

賛成意見  
松本議員

この件について、私は先の議会において一般質問を行った。その時町長は、「町長としての回答は差し控える」という回答であった。被爆国日本、その上に茶北町には相当な被爆者がおられる。戦没者追悼式で、中学生、小学生が熱い言葉で語っておりました。特に今年も高校生が集めた核廃絶の願いの署名21万4000人分を、国連の軍縮会議に手渡し核廃絶を訴えた。

反対意見  
山下議員

日本政府は唯一の被爆国として被爆者の思いに応えるためにも核兵器禁止条約に署名するべきとの意見があるとは承知している。現在、日本はアメリカの核の傘のもとで、安全保障政策を行っている。また、北朝鮮の核・弾道ミサイル計画の発展とあった、国際社会の平和と安定にとってこれまでにない重大かつ差し迫った脅威となってきた。以上の事実である。以上のようなことから、現時点で日本政府が核兵器禁止条約に署名することは難しいと考える。よって請願に反対する。

賛成意見  
浜口議員

72年前、広島と長崎に投下された原爆により数十万人の命が無くなっていく。日本は、世界で唯一原爆の被害を受けた国である。私たちの茶北町

にも、天草市、上天草市にも多くの原爆死没者、そして、ご遺族の皆さんがおられる。日本はこの条約に調印し、核兵器のない世界平和のために、リーダーシップをとるべきである。

また、北朝鮮の核・弾道ミサイル計画の発展とあった、国際社会の平和と安定にとってこれまでにない重大かつ差し迫った脅威となってきた。以上の事実である。以上のようなことから、現時点で日本政府が核兵器禁止条約に署名することは難しいと考える。よって請願に反対する。

賛否表(第16回定例会) ○ 賛成 ・ ● 反対 欠=欠席

議案	結果	表採決 賛成:反対	松本	廣田	高戸	松野	倉田	石田	野崎	浜口	田嶋	山下	錦戸
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度一般会計補正予算(第4号)(専決処分)	承認	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度一般会計補正予算(第5号)	可決	9:1	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度水道特別会計補正予算(第2号)	可決	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度宅地造成事業特別会計補正予算(第2号)	可決	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部改正	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の育児休業に関する条例の一部改正	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例の一部改正	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
錦戸春美基金条例を廃止する条例	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茶北町港湾管理条例の一部改正	可決	11:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定	茶北町老人福祉センター	可決	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	茶北町町民総合センター等	可決	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	茶北町温泉センター及び温泉自動販売機	可決	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	茶北町畜場	可決	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
茶北町人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	同意	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
道路事業予算の総額確保等に関する意見書の提出	採択	10:0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出	採択	9:1	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	
所得税法第56条の廃止を求める意見書提出	不採択	3:7	○	●	●	欠	●	○	○	●	●	●	

熊本県町村議会議員研修会

10月4日

美里町文化交流センター

熊本県立大学 五百旗部真氏による「熊本地震からの復興・復興に向けての課題」と題しての講演があり、これまでの経験を生かした中での貴重な話を聞くことができ、今後のためにも勉強になる講演会でした。

議会広報委員研修会

11月17日

熊本県市町村自治会館

「読む！質す！生かす！」  
熟議型クリニックで現状打破と題しての研修会があり、元熊本日日新聞記者 越地真一郎氏を講師に、我が苓北町議会広報「きずな」のクリニックを受けてきました。全体的な印象として「文字数が多く、記録的な側面と見やすさ読みやすさの妥協点を探ってみては。」等の意見をいただき、今後の広報編集に役立てたいと思います。

第2天草瀬戸大橋(仮称)着工式熊本天草幹線道路の早期完成を求める島民集会

10月28日

天草市民センター

国会議員・県及び天草の各関係者が集まり、第2天草瀬戸大橋(仮称)着工式及び熊本天草幹線道路の早期完成を求める島民集会が行われました。



島民集会の様子



第2天草瀬戸大橋(仮称)着工式

関東ふるさと苓北会

11月26日

東海大学校友会館

約130名が参加し、22期総会が開催されました。町からは、田嶋町長、山本議長他4名が参加し町の近況報告を行いました。総会は、大仁田会長の挨拶にはじまり、来賓挨拶、紹介、会務の報告、会計・監査報告が行われ原案通り可決、承認されました。第2部の懇親会は、乾杯ではじまり、富岡出身の松尾くからさんの歌謡ショー、福引大会と有意義な交流会の1日となりました。



関東ふるさと苓北会

発議第2号

- ・道路事業予算の総額確保等に関する意見書の提出  
(意見書提出理由)

地方の財政状況を考慮し平成30年度以降においても道路財特法の補助率嵩上げ措置の継続等を強く要望するため。

(意見書の内容)

道路事業予算の総額確保等に関する意見書

苓北町は、熊本県の天草下島の西北端に位置し、熊本市の中心地まで、距離約115キロメートル、時間にして約2時間40分の状況にあり、熊本都市圏との物流、人流、産業、観光などの広域交流は、その多くを国道324号や国道57号による主要幹線道路1本により結ばれているが、熊本地震を受け、複数のネットワーク確保の重要性を体感したところである。

また、移動手段を自動車交通に大きく依存している本町においては、今後、少子高齢化に加えて人口減少による過疎化の進展など、地方を取り巻く社会情勢が大きく変化することが予想される中で、住民の安全・安心を確保しつつ、町が持続的な発展を続けるためにも、熊本天草間の幹線道路の早期完成はもとより、主要地方道に加えて、田ノ平線などの主要な町道の整備改良を着実に推進し、また既存道路施設の長寿命化を積極的に図る必要がある。

このため、国におかれては、道路整備のために必要な事業予算の総額を、継続して安定的かつ十分に確保するとともに、地方道路の整備促進のための十分な予算配分確保等についても早急に検討されたい。

併せて、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」(以下「道路財特法」という。)の規定により、交付金事業の補助率等が嵩上げされる措置が平成29年度末までの特例措置となっており、財政力の脆弱な地方自治体にとっては致命的な問題となることは明らかである。

よって、国におかれては、道路財特法の補助率の嵩上げ措置について、平成30年度以降も引き続き継続されるよう強く要望するとともに、地方の財政状況等を考慮した支援措置を講じられるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月14日

熊本県苓北町議会議長 山本政人

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣 様



廣田幸英 議員

苓北町・まち・ひと・しごと

**問** 安心して住めるれいほくのなかで、誰もが安心できる健康福祉のまちづくり、防災体制の強化・防犯・交通対策の強化を図るとありますが、なかでも、防災・交通対策の強化についてお尋ねする。

苓北町の河川は、川幅が狭く、蛇行しており、また、河口付近は、大潮の満潮時には、住宅地との差がほとんどない河川が多数だと思ふ。平成27年6月11日発生した、志岐川・坂瀬川地区の小路川の氾濫、松原川の増水は記憶に新しいところである。その小路川の氾濫の原因については、橋の橋脚に障害物がかかり氾濫に至った対策として小路川の上流に流木捕捉工を設置、障害物を止める計画であ

ると聞いたが。

**町長** 小路川の流木捕捉工につきましては、現在、工事を進めているが、捕捉部材の納入が遅れており、もう暫くかかるもよう。河川の氾濫を防止する対策として、竹木の伐採は、非常に有効であると考へる。そのようなことから、年明けの2月頃に小路川の竹木伐採作業に取り組むこととしている。しかしながら、一度伐採しても、また翌年には生えてくる。最終的には河川の改修しか方法がないようだ。今後、このことにつきましても十分な検討をしてみたい。

**問** 交通対策の強化を、お尋ねする。国道324号富岡・坂瀬川間は、朝夕の通勤時間帯には、道路横断も儘ならず苓北町から天草市へ、また天草市から苓北町への通勤に利用する人が多い。国道324号は現在では、なくてはならない国道である。しかし、季節風の時期等、釜の下バス停付近から長崎浜バス停付近までの間は、越波が止まらない。住みやすい苓北町へ

働きに来てくれる人達に対し、また、沿線住民の方々に對しても、対策について優しい説明が必要と思うが、如何か。

**町長** このことについては、平成27年6月議会において、質問があつていた。特に、上津深江バス停付近から釜の下バス停、坂瀬川川向、さらには松原川河口域等において、満潮と強風が重なったときなどに、越波が起きてくることは承知している。また、通行する車が越波を避けるため、車線を変更するなど危険な状況もあるように聞

いており、これまで、国道の管理者の熊本県に対し、越波の状況写真を提示し、国道背後の消波工の嵩上げを要望しているが、熊本県におかれては、パラペット及び消波ブロックについては、基準の高さをクリアしており、護岸は整備済との認識をもつておられるようである。で、このことへの対応がなされていないのが現状である。上津深江港から西川内漁港までの背後に住宅がある国道護岸の区間は、

約3・0キロメートルである。この内、2・0キロメートルが港湾区域や漁港区域で、苓北町の管理となつて

いる。そのようなことから、国道の越波対策として、背後の消波工の嵩上げ等に取り組んでいただくよう、改めて熊本県に要望してまいりたい。

いきいきと暮らせる苓北町について

**問** 一次産業の振興・地産地消・特産品の開発・販路拡大の支援など一次産業に対する思いを尋ねる。

**町長** 水産物の特産品開発については、平成28年度において国の加速化交付金の事業を活用し、現在の天草拓心高等学校マリン校舎に協力いただき、人材育成塾を開催して

おり、その中で生徒を中心に、いくつかの商品開発を行つていただいた。今年度も引き続き、地方創生推進交付金を活用し、「苓北の里山海資源を活用した観光交流ブランド創造事業」を商工観光課と農林水産課で連携して取り組ん

でいる。内容としては、町の農林水産物・食・観光資源などを掘り起こし、新しい魅力を創造していくこととし、実践的なセミナーの開発やどこにもない特産品・観光商品を作り出すことを目的としている。この取り組みの中で、10月に開催された「にっぽんの宝物グランプリ熊本大会」に町内から5業者が出場し、天草拓心高校マリン校舎が出品した苓北特産のヒオウギ貝を使ったアヒージョは、準グランプリを獲得し、全国大会への出場が予定されている。他の出品者の方々も積極的に新商品の開発に取り組んで

いるところである。課題はあるが、水産物の利活用と消費、そして漁業者の意欲の向上、ひいては漁業の振興につなげていけるよう進めていく。また、国・県の支援策のなかで6次産業化の支援事業によつて進められないかどうかも含めて、取り組んでまいりたい。



議員 雅英 浜口

### 一、30年度予算の策定

(一)富岡城新大手門広場整備

等箱物行政の見直し

**問** 富岡城新大手門広場整備事業等の箱物行政は予算から排除すべき。町民が日常生活を営む上で必要とする身近な生活環境の整備にこそ貴重な税金を使うべき。

**町長** 大手門等は箱物とっていない。町民に一番身近で大事な施設。中央道路の回り道等代替え機能を考慮しながら進めて行きたい。

### 二、少子高齢化対策

(一)人口減少の歯止め

**問** 人口減少の対策として学園都市構想を提起して来た今回、茶北町に立地の高校に「海洋土木関係の学科の新設」を提案する。若い人が魅力ある仕事へ取り組む為の基礎

礎学習として新設する事により茶北町等への人口増が見込まれる。国の地方創生策や、人口減少による過疎化、少子高齢化の抑制につながる。関係機関に強く要請すべき。

**町長** 海洋土木と限らず、海洋関係の事に研究検討し、県に要請をしたいと考える。

(二)企業の誘致

**問** 本町は高速インターネットの整備に先進的に取り組んでいる。これを使った企業誘致に積極的に取り組むべき。

**町長** 都呂々中学校跡等に2つの会社がオフィスとして活用を検討。新年度も更に積極的に企業誘致に努める。

(三)農業漁業の六次産業化

**問** 拓心高校マリン校舎のマリン祭文化部門で「茶北町特産緋扇貝と天草オリーブを使った新商品開発」と題し、二人の生徒による意見発表があった。地元の高校生が具体的に地元の水産物を使い商品開発に取り組んで来られた事に対し敬意を表する。実用化には、原料供給等多くの課題が残されているが、産、学、官で積極的な対応をすべき。

オリーブ、イチジク農家の振興にも配慮すべき。

**町長** 「茶北の里山里海資源を活用した観光交流ブランド創造事業」を継続。今後も6次産業化支援に取り組んでいく。この素晴らしい製品を定着させ、良いお土産、特産品として広く販売出来る様に頑張りたい。オリーブ、イチジクの栽培には「小規模事業者支援補助」を適用。

(四)シルバー人材事業の活性化

**問** 高齢化社会への対応策として社会福祉協議会のシルバー人材事業の拡充は。体を動かす事による、健康の保持も可能になり医療費の軽減が図れるのでは。高齢化社会へ対応する糸口とすべき。

**町長** 小さな支障木の伐採等可能。高齢者の方の健康保持になればと思う。検討したい。

### 三、防災対策

(一)地盤の低い地域の治水対策

**問** 玄関脇に土のうが積み上げた箇所あり。適切な対応を

**町長** 再確認し検討する。

**問** 紺屋町津波一時避難地の横の水門の管理に紺屋町区

民は苦慮されている。一帯は地盤が低く農地への冠水、住宅への浸水が発生。地域の皆さんが公共性の高い水門の管理から解放され過重な負担にならない様、住民の安心感を確保する対応をすべき。

**町長** 紺屋町区の水門の管理に区民の方々が苦労されている。臨港道路の護岸整備と合わせ、地元の意見も聞きながら遊水機能を検討していく。

(二)消防施設の整備

**問** 消火の為の住民へのチラシを団員自らで作成されている班有り。本来町が行うべき。

**町長** 他の班へ取り組みの推進をお願いしている。

**問** 倉庫に配筋の露出等がある。命をかけた町民の生命と財産を護っていただいている消防団員の活動が容易な環境をつくる為早急に対応すべき。

**町長** 補正予算に計上し早急に修繕を行う。消防倉庫の改築、ポンプ積載車の購入は年次計画で整備。

### 四、議会質問への対応

(一)これまでに提起した事案への対応

**問** 松原川河川護岸が不十分。上津深江港突堤が沈下。

**町長** 松原川は宮原橋下流左岸の嵩上げから着手される。松原区の住宅背後、消防倉庫裏は平成30年度以降との事。下向突堤は修繕工事を発注済み。請負業者の都合で予定期間が過ぎてしまった。

### 五、教育の振興

(一)社会教育、学校教育の振興

**問** 少子高齢化、過疎化の中で、社会教育、学校教育の振興をどの様に進めていくのか。

**教育長** 学校教育は校長の経営方針の指導を進めていく。社会教育は、子供達、高齢者の方等町民皆さんの笑顔につながる取組みを考えている。

(二)児童生徒数の推移と対応

**問** 都呂々小学校は既に一部で複式学級。町内小学校の統合。そして、小中一貫教育の取り組みも検討すべき。

**教育長** 複式学級は、少人数であるため児童一人ひとりに指導が行き届くが固定化した人間関係により序列意識を生み易くなる。統廃合は考えていない。小中一貫教育も考えていない。



野崎幸洋 議員

## 坂瀬川西川内漁港の敷地を 町の特産品の産直市場などへ 有効利用できないか?!

問

西川内漁港の敷地には昨年、駐車場看板と「おっぱい岩」のモニユメントの移設、また、海岸への階段が新設されたため、観光客に駐車場として定着してきたように思う。

以前のように国道に違法駐車や、危険な横断をする人を見かける事が少なくなった事は、交通安全上非常に良い事である。

駐車場として、観光客に定着しつつあるこの広場を、町の魚介類・農産物などの特産品の産直市場をはじめ、浜焼き小屋・イルカウォッチングの発着所を整備し、苓北町の観光の拠点として活用できないかと考える。

前回の一般質問では「西川内漁港用地は、町有地ではあるが、補助事業で造成した用地であるため、産直市場などに利用する場合は目的外使用となり、県へ用地変更の許可が必要となる。現状としては非常に難しい状況であるが、今後とも県には働きかけを行っていく。」との答弁であった。



西川内漁港

た。

現在、五和町では、天草漁協五和支所の「水産物荷さばき施設」が建設中である。

完成後には、現在の五和支所の建物を取り壊し、平成31年4月に道の駅登録を目指した中で、イルカウォッチングの予約や産直市場が入った「イルカセンター」を建設する予定と聞いている。

現在、苓北町では、地産食材を利用した新しい商品開発



建設中の五和町二江漁港荷さばき施設

とブランド化を目指し、積極的な取り組みを行っているが、今後、五和町で道の駅が完成すれば、ますます苓北町の観光やお土産品などの産業が衰退していくのではないかと懸念される。

苓北町の西川内漁港の敷地用地変更は可能な状況にあるのか？

その後、県への許可申請交渉が行われているのか？

町長

漁港用地の利用計画を変更、活用して行くには、まず観光事業への取り組みを希望する地元事業者や、具体的な要望計画が欠かせず、観光事業の詳細な計画をもとに県を通じて国と、漁港施設の変更協議が開始される。

二江漁港の場合は、希望する事業者の、詳細な事業計画のもと、国との協議が行われたものと思う。

施設利用の変更については、漁港内の市の単独用地を、漁港施設用地と交換し、施設機能を維持したうえで利用計画の変更がなされているようである。

西川内漁港の用地変更の許可申請については、まず民間業者の方の意欲と協力が欠かせない。

具体的な要望が出てきたら、県・国への働きかけを行っていききたい。



松本良人 議員

**小中学校空調(暖冷房)設備の早期取り付けについて**

**問** 公共の建物、商業施設、観光施設、家庭等では、空調施設は整備されているが、小中学校は整備がされていない。年次的に、進めて行くと言う事だったが変更はないか？

一刻も早い完成は、必要不可欠である。平成30年度、100%完成、特に来年の夏季に間に合う完成を求めているが、町としての考えは？

**町長** 起債事業で可能であると判断し、平成30年度に苓北中学校、31年度以降に各小学校の整備を実施していく予定。

**課長** 31年度以降に小学校の整備をすると言う事だが、はつきりしたことを伺う。

**問** 優先順位をつけるのであれば、学校の環境改善である空調設備の設置は最優先にとりいれるべきでは？担当課に町の財政が窮屈になった事情、見解をお尋ねしたい。(担当課の回答なし)

**町長** 大事な事業であるので是非やりたい。ただし、有利な補助、起債があるか。一般財源では出来ない。来年度中学校を起債事業でやるがはつきり貸してくれるか解らない。中学校は感触はある。この後の小学校の事業も早くやりたい。ただし有利な補助、起債があればという事。一般財源だけでは行かない。

**問** 町に予算がないなら、町の金を浪費した責任で、町長、議会議員の給料、歳費の削減をしても、児童生徒が最高に教育を受けられる環境を作らなければならぬ。我々は身を切るのの当然であると考えますか？

**町長** 我々は身を切るのの当然だと思ふ。ただし、なんもかんも暖めてやるのはどうか？我々もそういう環境の中で育ってきた。1年2年待

ってもらうのはそんなに難しい事ではない。

**公共(小、中学校を含む)施設、公衆トイレの現状とありかたについて**

**問** 和式、洋式様々な仕様により、整備が成されつつあるが、洋式の中には、洗浄機能付きの物、そうでない物、施設の中に二種類ある等様々である。既設の多目的トイレについては、洋式ではあるが洗浄機能がついていない所が大半である。また、小、中学校のトイレの改修等も計画されているものと思われるが、小中学校のトイレについては、衛生上の懸念もある。考え方は統一されているか？

**町長** 学校の洋式トイレは、各フロアに最低1基は設置しているが、設置率は各校ばらつきがあり、志岐小と富岡小は設置率が低いため洋式トイレ設置を予定している。

学校、教育施設以外のトイレの設置状況は、洋式化率は51%で、洗浄機能付きは30基である。多目的トイレは、19施設、21基で、洗浄機能付きは5基である。

多目的トイレは、整備改修時、洗浄機能付として行く。

**各施設、公衆トイレに複数のトイレがある場合まちまちである。統一してはどうか。洋式トイレの普及により、子供達の体力不足が出てくる等問題も多い。学校の場合には慎重に対応されたい。併せて洋式トイレは女性の場合感染症を引き起こす場合がある。洗浄機能付のトイレを設置されたい。また、洋式は汚れる場合が多く衛生面で、和式でないのだめという方もおられる事を忘れてはいけない。**

**問** 二路線の国道は、海岸線にあるため、強風時、潮が上がり通行している車を直撃する事もある。主に国道324号の上津深江から坂瀬川海岸、389号の都呂々小松から萱の木海岸であるが、特に上津深江から坂瀬川の海岸線はひどい。この国道は、天草市方面への通行の要であり通勤者も多い。ほとんど自家用車による通勤だが、車が潮水

**国道324号上津深江から坂瀬川区間海岸の越波対策について**

**問** 現在の段階では何の対応もしていない状況。

**課長** 現在の段階では何の対応もしていない状況。

**問** 漁港、港湾区域である。海岸保全事業による、階段式護岸は出来ないものか？

をかぶるのが一番いやで、苓北町を離れ天草市に住所を構える人が多い。人口減の要因にもなっている。富岡地区の東、西海岸等、高潮対策による整備が進められてきたが、町内で最も重要な路線であるこの区間をどのように位置づけられているのか。越波で交通事故を誘引し、人身事故も推測され、また高潮・津波から家屋、生命を守るためどのような施策を考えているか？

**町長** (廣田議員への答弁重複しているので省略)

**問** 背後には、住宅が国道より低い箇所もあり、極小さな津波や台風により越波した場合、命の保証されない状態である。把握しているか？

**課長** 現在の段階では何の対応もしていない状況。

**問** 住宅地の越波、津波等の被害は現在の所何の確認も出来ていない状況。

**問** 漁港、港湾区域である。海岸保全事業による、階段式護岸は出来ないものか？

**課長** 階段式護岸については、課題もある。考え方を整理しながら進めていきたい。



石田 みどり 議員

**国民健康保険及び介護保険特別会計の財政状況と、保険料保険料の現状と改定見込み、30年から広域化による改定は。**

**問1** 長年据え置かれてきた保険料が、医療費の高騰など財政状況の悪化で今年度約20%引き上げられた。一般会計からの繰入も行い、県からの借入もされた。当初の計画では3年間に6割の引き上げもやむを得ない旨だったが、昨年の決算状況と今年度の状況を見て現状はどうなっているのか。また30年度から広域化で都道府県単位に制度が変わるが、総合的に見て来年度の国保税改定はどのように対応されるのか。

**町長** 昨年度は交付金の前年度精算金で5、000万円の歳入減や、高額な薬剤等により、県の支援金を借り一般会計からの繰入と国庫支出金を予定よりも多くいただき、2、000万円ほどの基金を残し何とか決算できた。今年は歳入歳出とも確定していないが、約2、300万円の財政増が見込まれ、現在のところ一般会計からの繰入や県からの借入もなくなっていいのではと予測している。30年度からの制度改革による広域化で保険料の改定の考えはとの問だが、当町では長い間税率を改定しなかつたが、29年度は国保税の改定を余儀なくされ、被保険者の方々にに対し、大変心苦しい思いであった。30年から県内の保険料水準の統一で、現行よりも上げないといけないとはわかつているが、2年連続での改定はあまりにも負担が大きくなるので、改定はしない方向で検討する。介護保険については、27年から29年までの3年間の介護費用の実績は、27年度に介護報酬が2・27%マイナス改定もあり、27年28年は減少している。

29年度は10月までの支払いで比べると、前年度より600万円ほど増加している。第7期の介護保険料については、現在事業計画の策定中で保険料についても検討中である。

**再質問** 公的年金は毎年毎年削られ、国保税や介護保険料の負担が重く、生活を圧迫している。介護保険についても一般会計からの繰入も検討願いたい。

**都呂々港の決壊について**

**問2** 都呂々港の先端に大きな亀裂が入り、川側へ倒れそうになっている。まだ改修してから年月も経つてなく、台風等の直撃も受けていないのになぜそうなったのか。波の力や動き、また川の流れの量や強さ等その道に熟知した専門の人が設計施工をしたはずなのに、何か工事に不備があったのではないか。改修したのはいつで、どの業者が設計施工したのか。工事費はいくらだったのか。川へ倒壊すると川がせき止められて、町民の財産や生命まで失う可能性もあるが、改修の予定はあるのか。

**町長** 都呂々港の北側防波堤先端の一部が破損している。災害発生後に設計を行った業者に同行していただき、現地調査をした。平成26年の改修工事の際の現地基盤より1・4メートルも深くなっており、異常洗掘が起きているのが確認された。原因については度重なる豪雨で、増大した河川の流出水が、基礎のコンクリートよりも深い洗掘を引き起こし、中詰材の玉石が流出したことで支持力を失い、先端部の破壊が起きたものと思われる。本施設は昭和初期に整備されたもので、構造については基礎部にコンクリートの方塊を敷き並べ、その上に玉石を積み上げてコンクリートで被覆したもので、平成24年の台風で北側防波堤の被覆コンクリートの一部が破損し、中詰材の玉石が流出したので、補助事業で港湾改修工事を行った。既設断面の劣化しているところをはぎ取り、新しくコンクリートを上乗せして、補強するものだ。平成26年3月竣工で工事費は6、920万円だった。年内に国

**国道389号の迂回路として都呂々年柄間の町道の整備を**

土交通省に出向き、災害復旧工事として採択いただくよう協議をし、年明けの災害査定判断に委ねることになる。

**問3** 近年の異常気象で、毎年がけ崩れが発生し主要な道路が通行止めになる。特に幹線道である国道389号竹の迫海岸が頻繁で、都呂々が陸の孤島になることがある。国道389号の迂回路として、町道都呂々年柄線の整備を。路面の傷みや離合できない幅員の所も見受けられる。住民からの声も出ているので、早急に検討してほしい。

**町長** 国道389号は崖崩れ等により度々通行止めとなる。現在進めている町道田の平線の拡幅改良や年柄一号線の落石防止対策工事が、まさに迂回路整備として実施している工事である。今後も引き続き災害時の迂回路となる路線については、拡幅改良や離合箇所を設置等に取り組んでまいりたい。

# 平成30年度予算の課題と姿勢

●平成28年度決算に  
おける将来負担比率

●富岡港キーステーション  
整備事業

**問** 9月県下全市町村の財政指標が示された。本町の財政は先の議会の中では健全であると報告があったが、将来負担比率について、県全体を通して考えるとその数値に懸念を持ったが如何か。

**問** 富岡港にアズレージョ（陶板）を使用した案内板を設置するのも一つの考えであるが如何か。都市整備事業の中で、地場産業の育成を図る上からも大いに推進すべきであると解するが。

**町長** 本町の将来負担比率は、国が示した基準を大きく下回っており心配いらぬ。今後とも将来に負担を回さない財政運営を行う必要があると考えている。

**町長** 総合案内板は平成30年度「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録を見据え、板面（説明版）での改修が計画されているアズレージョについては、待合所内部の壁に、町の特徴を生かした作品を掲示し地場産品のアピールを図っている。

育成のためにも改良要望のあった箇所を検討し実施の方向で調整する必要があるのは。

**町長** 道路改良事業については、現在、町道の拡幅や落石対策に取り組んでいる。町が要望した国庫補助金は、要望額の半分程度の内示額であり予定していた事業ができない状況となっている。「建設事業者育成」等の趣旨については、理解している。現時点では、優先順位をつけ改良事業に取り組んでいく。

## ●町道の局部改良事業

**問** 以前は、3000万円、1千万円程度の道路改良工事が実施されていたが、近年減少の傾向にあるのではないかと、地場業者の技術の継承・

## ●防疫用殺虫剤の配布

**問** 先月の地区区長会懇談会の時、殺虫剤配布に関する要望があった。この案件には、事故・下水道の普及・配布に対する通達・事業の継続それぞれ一理あることは、承知している。

なお、最近「空き家」が問題化されてきた、この「空き家」を起因として害虫が発生し環境衛生の悪化が見受けられる。その駆除対策として区民の奉仕作業を行っている。このような状況も考慮して頂き

たいが如何か。

**町長** 殺虫剤の配布根拠法はすでに廃止をされている。また、配布した殺虫剤による誤飲事故も起きている。消毒作業等を行う場合の取り扱いの通知も出ている。また、下水道の普及により地域環境も改善され、実質約半分の区が配布を受けている。通知を受けてからすでに6年が経過をしている等を考慮し、平成30年からは薬剤の配布を中止させていただきたい。ご理解を。

なお、販売業者から適切な指導を受けた上で一斉消毒作業をされる場合は、一部補助を検討している。

## ●鳥獣害対策

**問** イノシシはむろん、「鳥」ははじめ「鹿」も見受けられたとの情報もありその対策は待ったなしの状況である町・農協・生産者の三者が一体となった今以上の対策が求められるが見解を。

**町長** 鳥の被害対策では、防鳥ネット等の資材購入補助を、駆除対策においては、通

続を。なお、三者に加え、「駆除従事者の会」と連携を深め、懸命に取り組む。

## ●国保特別会計の 法定外繰り入れ

**問** 国保会計の県へ運営移管に伴い厚労省は、赤字を税金で穴埋めすることを容認すると自治体向けの説明会で示したとあるが見解を。

**町長** 今般、「赤字解消基本計画」の意見照会があった。今後赤字となった場合、国の正式な通知に従い計画策定を行い、赤字の解消・削減に向けた取り組みを行う。そのためには必要に応じ法定外繰り入れを行う。



高戸幸雄 議員





倉田 明 議員

小・中学校教育行政

問1 新教育長の所信表明

地方教育行政改革の新制度施行の下、10月1日付で就任されたが、所信を伺いたい。

教育長

教育基本法（義務教育）に基づき、本町もその目的に沿って、更なる学力の向上、自分に誇りを持ち他人を受け入れることのできる温かい人間関係の構築等を…。

学校現場では職員自身が職務規律の遵守に努めると共に、これらの課題の未然防止及び

早期解決に組織として取り組み、児童生徒の笑顔が更に増えていくよう委員会として指導助言を行っていきたい。

問2 小学校の統廃合

現在、町内4小学校の児童数は356人で一部に複式学級もあり、今後複式は増える見込み。少人数、多人数にも

その良さはあり統廃合には保護者・地域の考えも多種多様だが、児童中心に考慮すべきと思うが教育長の見解は。

教育長

現時点では、次の理由で統廃合は考えていない。

①幼児期においては、家庭・地域等の身近な人々が温かく見守り、言葉をかけていく教育環境が望ましいこと。

②児童の学力充実及び社会性の伸長については、学校の適切な指導とテレビ電話による授業、スクールバスを利用したの合同授業、学習支援員の活用等により、保障されていること。

③今後求められる地域学校協働活動の拠点として、地域の活性化に果たす小学校の位置づけは非常に大きいこと、があります。

ただ、この問題は、地域・保護者の方のご意見を伺いながら対応していきたいと思っており、現時点の見解として理解いただきたい。

町長

小学校の統廃合については、今の時点では教育長答弁と殆ど一緒です。

問3 「道徳科」の設置

学校教育法施行規則の一部改正に伴い、平成30年4月から小学校及び特別支援学校小学部、31年4月から中学校及び特別支援学校中学部で「特別教科」として実施されるが、現行との相違点は。

教育長

①道徳の時間が特別の教科「道徳」として格上げされた。②教科書が選定されること。③自分とは異なる意見を持つ他者と論議することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考えること。（答えが一つではない道徳）

④評価がなされること等があげられる。

問4 国際交流中学生研修

今年で25回となる研修先は近年オーストラリアのマジーが主で多くの研修成果も出されている。これらと並行し今後ICT（情報通信技術）を活用し、日常幅広い生徒、友人と交流できれば語学の向上など、その効果も高まり、延いてはマジーと本町の交流が深まると考えるが、教育長の見解は。

教育長

平成3年から国際交流事業を実施し、この間299名の生徒・引率者が本事業を通して、見聞を広め語学力を高め大変有意義な研修と認識している。

現在の中学校の授業内容から判断するとき、多くの中学生にとって、身体表現を含まず、会話だけで意思の疎通を図っていくことは、まだ難しいのが現状。

問5 姉妹都市締結

マジーとの交流では平成14年マジー市長が本町を表敬訪問時、市長より姉妹都市締結の話もあったようだが、町長の考えは。

町長

私も一度は公費二度目は私費で行きましたが、先方はこのような事業には公費は使わず、この前（14年市長他引率2名研修生14名）は私費で来られた。

今の市長がその考えがあらわれるのか、その前に町のことを深く知っていただき、今後、議会や私も町民の方も私費で相互交流ができないか、そしてお互い理解が深まった中で、提携ができれば大変うれしい。

問6 官民の交流

行政と民間サイドからも盛り上げ、例えば、町産業文化祭でマジーを紹介するコーナーを設け、研修状況等を展示するなど我々も町民に呼びかけマジーに行けたらと思う。

横断歩道の新設

問1 平成27年6月議会質問

で富岡百間土手改修に伴い、通学路が変更され元袋・尾越地区の児童等は東海岸を通学中だが、関係保護者より一丁目公民館付近への新設の要望に対し、教育長答弁は『要望付近の現地確認では児童の横断は危険が予想される。今後、学校・PTA・地域の方々と協議の上、関係機関へ要望を検討していきたい』だった。現状は。

教育長

27年10月現地調査を行い、総務課・警察署と協議の結果、交通量も少なく、道路幅員も狭いため、横断歩道の設置はできないと。

ただし、横断歩道線は可能ではないかと助言があり、現在協議中。

# 議 会 日 誌

※主なものを載せています



町木「ツバキ」

## 10月

28日 第2天草瀬戸大橋(仮称)着工式  
熊本天草幹線道路の早期完成  
を求める島民集会



町花「はまゆい」

## 11月

7日 建設経済常任委員会  
9・10日 総務常任委員会  
12日 苓北町防災訓練(富岡小学校)  
17日 議会広報委員研修会  
26日 関東ふるさと苓北会  
30日 議会運営委員会

## 12月

13・14日 平成29年第16回議会定例会  
14・25日 議会広報委員会

## 1月

5・12日 議会広報委員会

### 次の定例会は

# 3月

です。

皆様の傍聴をお待ちしております。

12月定例会の傍聴者は、  
**47人**でした。

議事録は『苓北町役場ホームページ』  
<http://reihoku-kumamoto.jp/>

[gikai-gijiroku/](http://gikai-gijiroku/)

で閲覧できます。

## “定例議会の一般質問がインターネットで聞けます”

議会質疑応答・音声

議会事務局

各課からの案内

苓北町ホームページ

上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。

### 編集後記

謹んで新年のお慶び申し上げます。今年も戊年です。もつ意味は、真面目で勉強、努力家であることから、縁起が良い年とされています。頑張れば何か良いことが見つかるかも。

昨年を漢字一文字で表すと「北」という字が発表されました。北朝鮮問題、九州北部豪雨、北海道産じやがいも不足などがあげられました。皆様は、漢字一文字言葉で何を思われますか。「福?」「付度?」それとも○○○?

昨年10月には、衆議院解散により総選挙が実施され自民党が圧勝しました。国民の負託に応え元気な日本を作ってもらいたいと熱望します。

苓北町議会も、残任期間があと1年となりました。私たち議員もなお一層努力を重ね、住民の負託に応えるべく邁進してまいりたいと思っております。皆様のご意見ご指導をよろしく願っています。

まだまだ寒さが続きます。お身体にはご自愛ください。

議会広報委員会